

令和2年度第1回リニモ沿線地域づくり会議

1 開催日時等

日 時：令和2年10月9日（金） 10時30分～12時00分

場 所：愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター 体験学習室

参加者：委員8名、オブザーバー3名、事務局18名（詳細は「出席者名簿」参照）

2 会議の概要

（1）開会

あいさつ 藤田リニア・交通対策監

- ・愛知県都市整備局リニア・交通対策監の藤田でございます。本日は大変お忙しい中、令和2年度第1回リニモ沿線地域づくり会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素はリニモの利用促進並びに沿線の地域づくりに、ご助言・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。開会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。
- ・愛知万博を機に開業したリニモでございますが、リニモの運営会社である愛知高速交通株式会社の経営努力や2009年度に策定した「リニモ沿線地域づくり構想」及び2015年度に策定した「リニモ沿線地域づくり重点プラン2016-2020」により着実に地域づくりに取り組んできた結果、リニモ利用者は年々順調に増加し、昨年度は万博閉幕後、最多の利用者数923万人を記録いたしました。
- ・しかし、今年度につきましては新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者数が大きく減少し、4月から8月における対前年同期比は44.5%と大変厳しい状況となっております。
- ・また、モリコロパークをメイン会場として開催が予定されていた「ラリージャパン2020」が中止となる等、開催予定であった各種イベントの中止が厳しさに一層拍車をかけております。
- ・しかし、ラリージャパンに関しては来年度の開催が予定されておりますし、さらには2022年秋のジブリパークの開業という話題性の高いニュースもございます。このジブリパークの開業インパクトをリニモ沿線に広く行き渡らせていくことが、今後の沿線地域におけるきわめて重要な課題であると考えております。
- ・本日の会議では、これまで県、沿線市により検討してきました新たなプランの素案について事務局より説明させていただきますので、委員の皆様から忌憚のないご意見・ご提案を賜りますよう、よろしくお願いいたします。
- ・以上、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

（2）議題

ア 「リニモ沿線地域づくり重点プラン2021-2025（仮称）」素案について

- ・資料1～2について、事務局から説明した。

【委員・事務局発言要旨】

○清水委員

- ・リノモテラス公益施設に興味をもって経過を気にしていた。2021年度に供用開始ということだが、現状はどのような状況か。

○堀場委員

- ・リノモテラス公益施設は今年度工事が完了し、来年度から供用開始することになっている。リノモテラス公益施設は当初の計画に比べ、建物が平屋になるなど変更点がある。長久手市観光交流協会は昨年一般社団法人化して、リノモテラス公益施設の運営等をやりたいと考えており、現在体制づくりを行っているところである。リノモテラス公益施設は観光交流、大学連携、子育て支援、多文化共生という4つのテーマを柱としてやっている。来年の3月に完成して6月から運営開始となると思われるが、今後の運営方法についてはリノモテラス運営協議会において、現在協議中である。観光交流協会ではリノモテラス公益施設の中にブースを作って、長久手に来ていただいた人に長久手はこういうまちですよという紹介をすることになる。貸しスペースがあり、真ん中を通路にして西側の角に喫茶スペースを設けることになっており、喫茶事業者については一般公募をして決めていく予定となっている。そこに人が集まってコーヒーを飲みながら会話をしてもらえようという仕組みを作ろうということで、現在、長久手市と協議をしながらやっている。また、外から来た人を集めるのか、長久手市内の人を集めるのかという論点については、観光交流協会としても内部で議論を行っているところである。
- ・観光交流協会としては、藤が丘や八草でリノモに乗車した人に古戦場公園は通過されてしまうのではないかと不安感があり、皆さんにいろいろと意見をお聞きしたいと思っている。リノモテラスの構想については市長とも話をするが、外から来た人も含めてリノモテラス公益施設に人が集まって、そこに来れば長久手がどのようなまちかわかるようにしたいということ、子育て支援、多文化共生、大学連携などに関して何かイベントなどの事業をやってほしいということがある。例えば2号公園で演奏会を行ったり、別の場所では講演会をやったり、また別の場所では観光交流協会が主体となって物を売ったり、地域のイベントをやるのもよいのではないかと観光交流協会の中でいろいろなプランを作っているところであり、リノモテラス公益施設を拠点として長久手を発信していきたいと考えている。
- ・さらにはリノモテラス以外について県にお聞きしたいことがある。1点目として、観光交流協会として、ブランディング事業、長久手の発信事業、ふるさと納税について、やっと一般社団法人化して必死になってやっている最中であるが、リノモ利用者がジブリパークを目的地として古戦場公園を通過してしまうのではないかと不安があり、県には古戦場公園で常時いろいろなことを行う支援がいただきたいということがある。2点目として、N-バスの関係で駅を拠点とした交通網をつくりたいと思っている。現在、古戦場公園付近は交通渋滞が増加しているが、高齢者などが古戦場公園に行くための交通網整備をしてほしい。N-バスのことなので名鉄バスなどとの協議が必要になってくることだが、ぜひお願いしたい。
- ・藤が丘中央商店街振興組合が西の玄関口としていろいろなことをやられると聞いているが、藤が丘から古戦場公園を過ぎ去ってジブリパークに行き、そのまま名古屋に帰られては、長久手としては寂しいところがある。古戦場公園の西側がどうなるかわからない状況ではあるが、それらの状況も踏まえて、人の集まりができると、観光交流協会としても、いろいろできるのではないかと考えている。

○事務局

- ・ジブリパークに来た人が通過してしまって沿線に寄らないのではないかという問題意識は我々も持っている。ジブリパークに来た人に沿線の情報を届けて、周遊コースの設定やインセンティブの付与等いろいろな方法を考えながら、しっかりやっていきたいと思っている。また、具体的な支援をいただきたいという話について、補助的なメニューがあるわけではないが、県と沿線市が一緒になって東部丘陵線連絡協議会において、地域を盛り上げたり、イベントなどをやったりしているので、その中で地元の観光交流協会などとのコラボについても積極的に考えていきたい。

○堀場委員

- ・現在、リモのスタンプラリーを県主導でやられていることについて感謝している。引き続きよろしくお願ひしたい。

○瀬口委員長

- ・今、リモテラスについてのお話をいただいたが、リモの各駅は個性を持ちうるシーズがあるので、それをまちづくりにどう活かすのか、文化としてどう伸ばすのかを考えていく必要がある。それは当然、交通とリンクしながらということになると思う。
- ・一方で、交通の結節点としては、藤が丘と八草が問題となる。ジブリパークの開業効果の沿線地域への波及ということでも藤が丘は重要な地域になる。柴田委員にそのあたりについて伺いたい。

○柴田委員

- ・藤が丘まちづくり協議会は今年3月にできたばかりで、地元の自治会長、藤が丘駅の地権者、また、オブザーバーで県のジブリパーク推進課、名古屋市住宅都市局、交通事業者など藤が丘に関連するところを網羅した組織体制が固まったところである。今考えているのは、藤が丘駅を西の玄関口として、お客さんが来た時に雰囲気が出るようなまちづくりをしたいということである。これはジブリパークの開業に係るとりあえざる整備である。
- ・藤が丘は昭和40年代に区画整理が終わり、次のステップとして万博があり、その後しばらく空白期間があったので、今回のジブリパークの開業というのは藤が丘にとって千載一遇のチャンスということで駅の再整備を考えていく。公団住宅は建設から40~50年経過しているが、建替となると時間がかかるので、短期的にやることと長期的にやることで分けて考えていきたい。
- ・我々として名古屋市にお願いしているのは、リモへの乗り換えに関して、現在は屋根がないので、屋根を付けてイベントや滞留の対策ができるようにすることである。もう一つは11月3日に藤が丘中央商店街が藤が丘大文化祭という、Go To 商店街事業を活用したイベントをやるので、我々としてはもっとPRしてきたいのだが、ジブリの作品を使うのは難しいということを知っている。イベントで使わせていただければ事前の宣伝にもなるので、この点について愛知県を中心として調整をお願いしたい。

○事務局

- ・藤が丘のイベントについては、県のスタンプラリーでも協力して一緒にやらせていただいているので、今後も是非協力してやっていきたい。ジブリに関する調整については、ジブリパーク推進課とよく調整してできることは実現していきたいと考えている。

○瀬口委員長

- ・藤が丘の乗り換えのところは不便で、わかりにくいので、名古屋市の方で対応していただくとありがたいというご意見でした。
- ・次に東の八草についてお聞きしたい。山崎委員お願いします。

○山崎委員

- ・ツーリズムとよたは豊田市の外郭団体で、豊田市全域の観光振興や近隣自治体との連携、国内外への情報発信を行っている。私の日ごろの業務及び豊田市の代表としての立場からは、重点戦略1の方針が関係する部分で非常に同意できるところ。主要施策4の広域観光というところにおいて、県内観光地への周遊ということも書かれている。八草から愛環への乗り換えも便利なので瀬戸市の中心部、豊田市の中心部へも行ける。また、車でないといけないが、豊田市にトヨタ鞍ヶ池記念館やトヨタ会館があり、このようなところは特徴のある施設かと思うので、広域観光についてこのプランでしっかり固めていただいて、広がりを受知県全体にと考えている。
- ・八草については、本日も新豊田から八草乗り換えで来たのだが、雨で煙っていたということもあり、リニモ自体が、ジブリの世界とつながるのではないかと思った。千と千尋の神隠しの作品の中に、湖の上を電車が走るシーンがあり、陶磁資料館南駅から霧に煙ってスーッと電車が来たのを見て、発信の仕方によっては、バズるという感じにもなるのではと感じた。観光業視点でそのように感じるころはある。

○瀬口委員長

- ・広域観光について「小牧・長久手の戦い」ひとつ取っても、東海地方にかなり広がるし、瀬戸の焼き物についても広域的にとらえることもできる。また、リニモ沿線の空間、季節を捉えて演出するというのも考えられる。IT技術を使って、霧で煙る日を予測し、演出をするとか、工夫ができるのではないかと思う。
- ・先ほどリニモテラス公益施設の話があったが、瀬戸市は尾張瀬戸駅前に大学連携にかかる場所を作っていて、この点では先輩である。高田委員にはこれについての知識やプラン全体に対しての意見があったらお願いしたい。

○高田委員

- ・リニモ沿線地域づくり重点プランに関して、内容は沿線市と県が作成されたということでもろいしかと思う。ただ、5年間の計画でアクションプラン的なものと考えれば、各主体がどのように連携できるのかということが肝要かと思う。プランには策定体制が書いてあるが、連携に関する記載がないので、きちんとやっていかないと、それぞれの市や団体が個々にやるだけで終わってしまう。ジブリパークの開業が今後5年間で最も大きなインパクトだと思うので、瀬戸市でもこれを起爆剤にしてまちづくりにつなげていきたいというのは、産業界も観光界も行政も考えていることだと思うので、もう少しいろんな連携を図っていかないといけないと思う。
- ・例えばサテライトショップの設置ということで、瀬戸の物産も置いていただけたと思うが、どのように進めるのかという情報がなかなか出てこない。突然言われても産業界も対応できないので、早く情報提供をいただくとありがたい。また、広域連携、広域観光については、観光部門との連携をきちっと図って是非進めていただきたい。
- ・本プランの対象地域において、瀬戸市内では海上の森が大部分となるが、海上の森がジブリパークとどのように連携していくかをお聞きしたい。ジブリパークの情報が全く出てこない

ので、作品とまちの雰囲気に合わせてやっていきたいのだがやりたくてもできないし、何ができて何ができないのかもわからないという状況なので、情報提供をお願いしたい。

○事務局

- ・取組・事業の実施主体をプランに書いてしまうと、必ず実現できる施策しか書けないという問題があると考えている。ただし、毎年、取組・事業の進捗を確認する際には、実施主体に進捗状況を確認しながらやっていく。
- ・サテライトショップの情報なども早く出してほしいということがあったが、スタジオジブリとの調整については、県のジブリパーク推進課でジブリパーク構想地域連携協議会を作って、そこを窓口に行っており、情報が出てくるのが遅いという状況がある。特にジブリ作品の使用に関しては、先方との調整が整わないと動き出せないという状況なので、時間はかかっているが、やれる範囲で調整を進めているところなので、その結果を見ながらできることを進めていければと思う。
- ・海上の森に関しては、ジブリパークとの親和性も高い施設のため、ジブリ作品を使ったイベントや仕掛けができないかということについて具体的なものがあれば海上の森に働きかけたかと思っています。

○瀬口委員長

- ・連携のことでジブリパークに関する情報をできるだけ早く提供してほしいという意見をいただいた。今回は素案の段階なので、今あった意見を踏まえたうえで、プランに反映してもらえればと思う。

○堀場委員

- ・ジブリパークの内容がなかなかつかめない。ジブリパークに関して把握している情報としてはテナント料が高いということとジブリ作品が使えないのではないかとということである観光交流協会としても、ブースを出すなどいろいろ展開してやりたいと考えているので、委員長が言われたように速やかな情報提供をお願いしたい。

○事務局

- ・今回のプランはジブリパークの開業が大きな事柄であるので、その検討の前提となるジブリパークの情報がないということについては大変申し訳ないと思っているが、現在、県のジブリパーク推進課で沿線市と交通事業者も入ったジブリパーク構想地域連携協議会という別の組織を作っていて、いろいろな要望や意見を聞いて、それをとりまとめてスタジオジブリと調整中であり、私どもも情報入手が難しいという状況である。こちらもできるだけ入手して計画に反映させる努力をしたいと考えている。

○村田委員

- ・いいプランが仕上がりつつあると思うが、せっかくなので何点か申し上げさせていただく。1つは、これだけ前面にSDGsのことを書き込んであるが、もったいないのは、例えば、プランの方向性を示しているところである3つのキーワードの部分にSDGsが出てきていない。また、資料2の55ページにSDGsのマトリクスがある。ここでもったいないのは、いくつかの番号が飛んでいることである。1、3、5、6、14、16がない。14、16などは書きにくいところもあるが、関連させようと思えばできるので、せっかくだから関連させておけばと思う。
- ・さらに、マトリクスで一番多いのが、経済と働き方（ディーセントワーク）についての8番であるが、地域経済という意味でジブリパークができるというのは大きいですが、地域経済をど

うまわすのか、地域の人働き方について考えた時に、インパクトがなかなか見えてこない。主要施策8の駅周辺の都市機能充実において、地域経済をどう回すか、また、地域の人働く場所をどのように確保するかを考えていければよいと思うが、あまりそういう発想になりきれていないのではないかと思う。

- また、リモテラス公益施設が都市機能というのかという疑問がある。北のエントランス構想では産業誘致のことも書いてあるので、関係していくのかなという部分がある。八草のまちづくりも産業誘致という動きになれば面白いが、現状そこまで動いていないということであるが、その点をもう少しきちっと言い切りたいと思う。都市という言葉に分けると都と市なので、ビジネスとマーケットという側面が見えてこない都市機能とはいえない。住宅ということだけでは都市機能とはいき切れない。そういったところを考えていかないといけないし、経済と働き方（ディーセントワーク）の目標についての柱が見えない。
- コロナについては前提条件の中で書かれているが、具体的な取組・事業には記載がない。ウィズコロナの状況は5年間の中でそう簡単に終わらないので、重要な意味を持つてくる。一番重要なのは、ジブリパークをコロナの中でどう捉えるのか。たくさん人が訪れることは想定できるが、にぎわいの創出で密になって地域にコロナの感染拡大を招くことは地元にもお客さんにもありがたいことではない。
- 重要なキーワードである「何度も訪れたい」ということについて、リピーターを増やすという発想はいいので、そこで考えたいのは、ただ単にたくさん人が来たらいいということではなく、ファンをどう作っていくのかということかと思う。ジブリのファンということではなく、地域のファンを、ジブリをきっかけに作るという発想を持てたらいいが、口頭では説明があったがプラン中に書かれておらず、もったいないので、どうファンを作ってリピーターを増やすのか書かれているといい。USJにしろディズニーにしろ、ファンは近くに住んだりする。そういうようなものになっていくとしたら、非常に魅力的な地域になっていくと思うので、ジブリのコンセプトに共感する人が住むというようなことを目指せば面白い動きになるのではないかと思う。

○事務局

- SDGsについては、個々の施策がどのような点に関連しているのかということで記載していたが、プラン全体に関しての視点が足りなかったかもしれない。ご指摘いただいたキーワードの部分などについては、検討していきたいと思う。
- コロナについては、世界的な影響があるものであるが、抜けていたということもあろうかと思う。プランの5年間を見れば非常に重要な点なので検討を行っていききたいと思う。

○瀬口委員長

- ジブリパークは他のテーマパークは違う。分散して施設がありその周りに公園があるということなので、3密をどうやって調整していくのかということに触れていくともう少し展開があるのではないかと思う。こういったことを書き込んでいただいた方がよいのではないかと思う。

○松宮委員

- 2点お願いと意見がある。1つは大学が豊田、日進、長久手に多く、学会も多い。私どもも年間3回行う予定で、全部合わせて3,000人程度が長久手に来ることになる。大学の持ち回りでやるので、いろんな分野の学会が入れ替わり立ち替わり開催される。学会が開催されると、参加者には公共交通も含めた地域の案内が配布される。長久手には、そういう地域の案

内がない。時刻表を含む公共交通や周辺の観光施設などが一体となった案内などがあると非常にいいと思う。和歌山、富山、熊本などは都市ごとに作っている。それを学生にも配布したらいい。豊田や瀬戸へのアクセスやリニモテラス、あぐりん村などへの簡単な案内など個別にはあると思うが、A3で1~2枚くらいで、簡単に渡せるものがあると非常にいいと思う。

- そうした案内を作成する際には、リニモ駅周辺1kmの範囲を超えて広範囲にわたってどのような施設があるのかというマップが少なくとも必要なのではないか。先ほど申し上げたように学生向けにも使えるものであり、長久手市内だけで約14,000人の学生がいるので、非常に重宝されると思う。こういう案内がないと大学生も大学に通うだけで沿線を素通りという状況かと思うので、せっかくプランを作成するのであれば、そういうことをやるべきで、こちらでも是非協力させていただきたい。
- 関連になるが、沿線市に限定せずに、例えば沿線市から新城、設楽へのバスもあるので、瀬戸、豊田やその先の新城、設楽の方までつながっているようなイメージで、さらに広域に愛知県のさらに奥の方までつながるようなことになるといいと思う。
- 2点目としてはリニモテラスについてであるが、現在実施している大学連携の取組は、暫定的に長久手市内にある4大学となっているが、ゆくゆくは、日進、豊田、瀬戸、名古屋の大学も含め事業を展開したいと思っている。リニモテラスを拠点にリニモ沿線との交流や事業の形でいろいろな学生が交わるようなことを企画しているので、是非協力をお願いしたい。まだ計画なので、具体的にできればご案内させていただきたい。

○事務局

- 我々もマップなどを作る機会はいろいろあるが、今言われたような視点は欠けていたところもある。時刻表も含めて周辺観光をしやすいようなマップ作りに努めていきたい。また、プラン本文には書いてあるが、新城など周辺も含めた視点もしっかりと書いていきたいと思っている。

○瀬口委員長

- マップを作成したあとはどこかのHPに載せて、必要な人はそこからダウンロードしてもらうということにすれば、情報も年々蓄積されていくのではないかと思う。

○清水委員

- マップの話とか、広域観光の話は連携しないと意味がなく、これまで地域ごとにやっていたものを如何に連携させるのが課題になる。まさにMa a Sなどは全てが一体化しないといけない。この点は、やはり愛知県が主導して連携を深めていってほしい。マップ作りは、やはり交通を絡めなければ意味がない。Ma a Sに関してリニモを起点とした交通網の構想が既に考えられているのであればお聞きしたい。それに広域観光も絡めればマップの骨格ができていくことになる。

○事務局

- Ma a Sの取組については、プランの目玉のひとつになると思うが、県におけるMa a Sの取組はまだ始まったばかりであり、本年4月に産学官連携のMa a S推進会議が活動をはじめたところである。会議には交通事業者、通信事業者、自治体などを含め全体で56くらいの団体が関わっている。大きな柱としては、愛知県における広域Ma a Sを推進しようということで、先導的に導入をして段々と広げていくという考え方で、その先導地域として名古屋東部丘陵を対象にしてやっていく予定である。まだ始まったばかりであり、今後の具体化

については検討している段階であるが、9月の県議会においてM a a S推進検討調査費の予算案を1,800万ほど計上している。今月13日が議決日で、議決されれば、本年度急いで基礎調査をして、来年度以降進めていきたい。まだ絵が描けない状況ではあるが、交通をただ便利にするということではなく、観光、飲食、医療にもつなげていきたいと考えている。

○委員長

- ・M a a Sも経済的メリットがないとなかなか実現は難しいと思うので、是非検討を進めていただきたい。

イ 今後のスケジュールについて

資料3について、事務局から説明した。

【委員・事務局発言要旨】

○委員長

- ・各主体の連携、情報提供、SDGs、コロナ禍での対応などいろいろとご意見をいただいたので、次回の地域づくり会議までに今回の意見を検討いただきたい。

(3) その他

特になし。